

小田原駅東口図書館
児童図書資料収集指針

1 目的

「小田原駅東口図書館」の児童図書資料の収集に関する基本方針を定めるものであり、今後、時代や利用者ニーズの変化に対応し、必要な改定を行うものとする。

2 基本事項

- (1) 収集対象年齢 0才～12才程度
- (2) 選書趣旨 「小田原市図書館運営方針」を実現するための選書を行う。
- (3) 収集分野 図書資料、紙芝居（新聞及び逐次刊行物の収集については、別途定める。）

3 基本方針

図書館としての基本書の収集に留意し、「出会う図書館」の基本理念の実現に資する資料を収集する。

幼児・児童・生徒（以下、「子ども」という。）のあらゆる興味に対応できるように、広範な分野において選択して収集し、必要に応じて複本も収集する。

- (1) 子どもが楽しく読めるもの、子どもの成長に有益なものを収集する。
- (2) 読書を通じて子どもの豊かな感性、想像力、自己解決能力を養うことのできる資料を収集する。
- (3) 絵本、幼年文学、児童文学の分野で長く読み継がれてきた資料（ロング・セラー）は、積極的に収集する。
- (4) 日本語を母国語としない子どもが利用できる多文化・多言語の資料も収集する。
- (5) 障がいのある子どもが利用できる資料も収集する。
- (6) 児童文学、児童奉仕の研究等に参考となる資料を収集する。
- (7) 受験向けの参考書・問題集については、収集しない。
- (8) 長期の利用に適した素材や形態の資料を収集する。（書き込み本、切り取り本は収集しない）また、配架や収納の容易な資料に留意して収集する。
- (9) 電子ゲームの攻略本やコミック本は、原則収集しない。ただし、学習用や解説用にまんが的な表現を用いた資料については、厳選して収集する。

4 部門別収集方針

〔絵本〕

子どもの心を豊かにし、想像力を養うようなものを中心に収集する。

- (1) 各ブック・リストであげられている絵本に留意して収集する。
- (2) 幼児絵本、知識絵本、昔話、古典の再話、創作等広範に収集する。
- (3) 外国の絵本もいろいろな国のものを収集する。
- (4) 日本語以外の原語で書かれたものも収集する。
- (5) 装丁や造本がしっかりしたものを収集する。

[文学]

・幼年文学

幼年期(3才から8才頃)を、読書の基礎を作る大切な時期としてとらえ、評価の定まった作品を積極的に収集する。

・児童文学

豊かな想像力を養うもの、より本格的な読書を促すものを広範に収集する。

- (1) 古典から創作作品まで広範に収集する。
- (2) 創作作品はジャンル別(ファンタジー、ナンセンス、SF、リアリズム等)のバランスを考えて収集する。

文学以外の各分類については、子どもの知識、調べ学習、趣味、娯楽に役立つ資料を収集する。利用が集中する分野は、広範に収集する。

[総記]

- (1) 子どもたちの宿題や自由研究に応えられるよう、百科事典を中心に、調査研究のため資料を収集する。
- (2) 図書館、博物館に関するもの、読書案内等を収集する。
- (3) プログラミング学習に対応するため、情報学に関するものを収集する。
- (4) 情報が新しいもので、わかりやすく使いやすいものを収集する。

[哲学]

- (1) 難しい学問的なものでなく、わかりやすい哲学、心理学、倫理学、宗教の資料を収集する。
- (2) 子どもたちの悩みに応えられる人生論、心理の資料を収集する。

[歴史]

- (1) 利用、出版点数ともに多いので、体系に留意し選択して収集する。
 - (2) 社会科学習との関連に留意して資料を収集する。
 - (3) 図版、写真、イラスト等が適切に使われているかに留意する。
- ##### ・日本史・世界史
- (1) 各種年表、事典等を収集する。
 - (2) 歴史の事実を正しく、わかりやすく伝えている資料を収集する。

(3) 小田原城の近くに設置されるため、日本の戦国時代から江戸時代にかけての資料に留意して収集する。

・伝記

- (1) より多くの人物に多様な観点からアプローチできるように広範に収集する。
- (2) 被伝者の性格、個性や生きた時代の特性、業績等がきちんと述べられているもの。
- (3) 低学年向きの伝記については、現物を見る等してから慎重に検討する。

・地理

- (1) 日本国内の各地域および各国の人文地理的な観点から記述した資料を体系に留意し選択して収集する。情報の新しさに留意する。
- (2) 地図は冊子形態のものを収集する。
- (3) 旅行案内も修学旅行に使えるもの等を中心に収集する。
- (4) 探検記も収集する。

[社会科学]

- (1) 子どもの社会に対する見方を広げ、深める資料を体系に留意して収集する。
- (2) 社会科学習に役立つ資料を収集する。
- (3) 日本国内の各地域及び各国の服装や住居等の風俗習慣は利用が多いので、図版のある資料を積極的に収集する。
- (4) 社会の新しい動向について記述されている資料に留意して収集する。

[自然科学]

利用の多い分野なので、子どもの科学的なものの見方、考え方を育てる資料を収集する。

- (1) 内容の新しさに十分留意する。
- (2) 子どもの旺盛な知識欲に応えられるよう幅広いテーマの資料を収集する。
- (3) 図版、写真、イラスト等が多用された、わかりやすい資料を収集する。
- (4) 子どもの発達段階にあわせた資料を揃える。幼児向きの科学絵本も積極的に収集する。

[技術]

子どもに知的刺激を与えられるような資料を収集する。

- (1) 生活科、社会科、理科、技術科、家庭科の学習に役立つ資料を収集する。
- (2) 内容の新しさに留意して収集する。
- (3) 料理、手芸等の分野では、楽しみながら読める、娯楽性のあるもの、実用性の高いものを収集する。
- (4) 図版、写真、イラスト等が多用された、わかりやすい資料を収集する。

[産業]

社会科学習と大きくかかわり、特に、農業や園芸についてレファレンスの多い分野なので、教科学習に役立つ多様な資料を収集する。

- (1) ペットの飼育や草花の栽培は、実用性の高い資料を収集する。
- (2) 小田原駅の近くに位置するため、運輸、交通分野の資料について留意して収集する。
- (3) 図版、写真、イラスト等が多用された、読みやすくわかりやすい資料を収集する。

[芸術]

利用の多い分野なので、子どもたちの趣向を取り入れながら、最新情報を提供できる資料を収集する。ただし、興味本位に流されないように注意する。

- (1) 指導書として正確で適切な記述がなされていること。
- (2) 子どもが本を読んで、自分でできるように書かれていること。
- (3) 図版、写真、イラスト等が多用された、読みやすくわかりやすい資料を収集する。
- (4) 児童の健全な心身の発達のための遊びやスポーツ関連の資料に留意して収集する。

[言語]

出版点数が少ない分野だが、各種の辞典、ことわざ、方言、話し方、作文、手紙の書き方、外国の諸言語の資料を収集する。

[郷土資料]

- (1) 子どもが自分の住む地域について知ることのできるよう、幅広く資料を収集する。
- (2) この分野の内容を補うため、多少高度なものでも一般書も収集する。
- (3) 小田原を主題とした資料を重点におき、そこから隣接地域、神奈川県へと範囲を広げて収集する。
- (4) 利用が集中するものについては、複本を揃える。

[まんが]

学習まんがについては、学問上の真理や歴史上の事実が歪められていないこと、巻末の資料等が正確に記述されていることを精査し、厳選して収集する。

[紙芝居]

出版点数はそれほど多いとはいえないが、子どもに根強い人気のある資料なので、以下の点に留意して、広範に収集する。

- (1) 紙芝居の「抜く」という性質を十分に生かしたもの。
- (2) 絵と文の調和のとれたもの。
- (3) 子どもの生活、体験に密接した題材を扱ったもの。
- (4) 子どもの想像の世界を広げられるもの。

[参考図書]

- (1) 子どもの疑問や調べ学習、宿題、自由研究等に役立つ資料を積極的に幅広く収集する。
- (2) 子どもの高度な知識欲に対応するため、一般書の中からも収集する。
- (3) 百科事典、各分野の辞・事典、図鑑、地図、年鑑、統計等を以下の点に留意しながら収集する。

内容が的確で新しい情報が記されていること。

子どもの自己学習に際し、わかりやすく、使いやすいもの。

[その他]

・ダイジェスト本

他の児童図書で代替えできる資料がない時や、幼児、低学年用図書として、ダイジェストがやむを得ない場合は、できるだけ原作の意を損なわずに書かれているものを収集する。

以 上